

平成28年度「宝くじ松」配布・植栽事業の概要

No.	都道府県	団体名 (植栽地)	マツの種類と規格 (m)	本数 (本)	植栽趣旨
1	宮城県	東松島市	抵抗性アカマツ H=0.25	3,000	上記植栽予定場所は、先の津波によって防除が遅れたことから甚大な松くい虫被害を受けている。現在、集中的な伐倒駆除を行っているため、丘陵の一部は立木が皆無となっている場所も出始めていることから、早急な景観修復が必要となっている。 当該地区は、アカマツが海に映える日本三景松島の一角を担っていることから、駆除によって開けた場所へ抵抗性アカマツの植樹を行い、将来的な景観保持に努めたい。
2	石川県	根上森林連合会	抵抗性クロマツ H=0.25~0.3	250	能美市の海岸林は、白砂青松の松林として長きにわたり市民に親しまれ、防砂林として地域住民の生活を守ってきたが、近年、松くい虫被害の影響により全体の約8割近くが枯れた。それから海岸松林の再生を図るため、根上森林連合会を地域住民で組織し、行政等と協働して計画的に進めてきた。今般、当該事業により植栽し、市民・教育機関・企業等が主体となり、保育活動に努めていく。
3	長野県	坂城(さかき)町	抵抗性アカマツ H=0.5	300	景観の保全と土砂災害防止のためにマツの補植をする。 補植を希望する「びんぐし山」は、町の温泉施設や都市公園があり、町民の憩いの場となっている。しかし、近年の松くい虫による松枯れの状況が深刻であり、伐倒駆除と抵抗性アカマツの補植により対策を行いたい。
4	大阪府	浜寺公園指定管理グループ 浜寺公園管理事務所	抵抗性クロマツ H=2.5	50	万葉の時代より受け継がれてきた浜寺の松林において、近年マツノザイセンチュウによる松枯れの発生が確認されており、予防措置を講じながらも断続的に松枯れが進行しているため、今後は予防だけでなく、新植による松の世代交代が必要です。ついては、約5千本の松林を未来に引き継いでいくため新たに抵抗性をもつクロマツへの植替えを実施したいと考えております。地域に根付いた浜寺の松林を残していくための第一歩として、当事業における助成をお願いいたします。
5	島根県	西ノ島町	抵抗性クロマツ H=0.2m	1,000	植栽予定箇所は、外浜海水浴場に面しており、白砂青松の松林として長きにわたり町民に親しまれ、美しい景色としてだけでなく、風害、飛砂、塩害から集落を守ってきたが、松くい虫被害の影響により松林がほぼ壊滅状態となっている。 そこで、地域住民と連携し、抵抗性クロマツの植栽事業を行って松林を再生し、さまざまな機能回復を図りたい。
6	福岡県	芦屋町	抵抗性クロマツ H=0.25	1,000	本町の森林は、地域住民の生活に密着した里山等の広葉樹と海岸線に臨む松林等の針葉樹で構成されている。これらの森林は自然環境の保全や風害・飛砂・塩害から田畑、住宅、道路等を守る機能を果たしてきたが、近年の松くい虫被害の拡大によるマツの減少により、その機能が減退してきている。 このたびのマツ植栽事業の実施は、地域住民と一体となり前述の森林による環境保全機能の回復を図ると同時に、町木ともなっているクロマツを次世代へ受け継いでいくために行うものである。
7	福岡県	NPO里浜つなぎ隊	抵抗性クロマツ H=0.25	1,000	幣(にぎ)の浜は、芥屋(けや)の大門(おおと)と野北(のぎた)浜を結ぶ6kmに至る弓張形の砂浜で、日本の白砂青松100選にも選ばれているが、幣ノ松原はマツ枯れで壊滅的な被害を受けた。当NPOは、糸島市の委託を受け、松林を再生・保全するために、各種団体・企業の協力を得ながら活動を行っている。 活動に参加している団体はほとんど自分たちでマツを植え、育てる段階から取り組みたいという希望が多い。
8	沖縄県	伊江村役場	リュウキュウマツ H=1.5(30本)、 H=1.0(200本)	230	本村の観光地となっている場所にリュウキュウマツを植栽整備することで緑地の修景効果を図り、緑化推進における市民の啓発向上に寄与するものである。
合計				6,830	